

温泉の成分、禁忌症及び入浴上の注意
成分に影響を与える項目

1.成分

- ①源泉名 こんびら温泉いこいの湯
②湧出地 香川県仲多度郡琴平町五條字郷見1022番1
③温泉の泉質 アルカリ性単純温泉(等張性・アルカリ性・低温泉)
④泉温 源泉 28.2℃

使用場所 40℃

⑤温泉の成分

- (1) PH 8.6
(2) ラドン(Rn)含有量 8.6×10^{-10} キュリー/kg (2.4 マツヘ/kg)
(3) 試料1kg中の成分・分量及び組成

イ 陽イオン

組成	ミリグラム(mg)	ミリバル(mva1)	ミリバル%(mva1%)
リチウムイオン(Li ⁺)	0.2	0.03	0.27
ナトリウムイオン(Na ⁺)	235.6	10.25	93.09
カリウムイオン(K ⁺)	2.9	0.07	0.64
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	1.3	0.11	1.00
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	8.7	0.43	3.91
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.1	0.00	0.00
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.9	0.03	0.27
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.8	0.09	0.82
陽イオン計	250.5	11.01	100

ロ 陰イオン

組成	ミリグラム(mg)	ミリバル(mva1)	ミリバル%(mva1%)
塩化物イオン(Cl ⁻)	78.1	2.20	20.31
臭化物イオン(Br ⁻)	0.2	0.00	0.00
硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	1.9	0.02	0.18
フッ化物イオン(F ⁻)	7.4	0.39	3.60
炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	433.2	7.10	65.57
炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	33.0	1.10	10.16
硫化水素イオン(SH ⁻)	0.8	0.02	0.18
陰イオン計	554.6	10.83	100

ハ 遊離成分

非解離成分

組成	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmo1)
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	36.6	0.47
メタホウ酸(HB ₃ O ₃)	29.1	0.66
非解離成分計	65.7	1.13

溶存物質(ガス性のものを除く) 0.87 g/kg

溶存ガス成分

組成	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmo1)
遊離二酸化炭素(CO ₂)	16.8	0.38
溶存ガス成分計	16.8	0.38

成分総計 0.89 g/kg

ニ その他微量成分

チオ硫酸イオン	0.1	mg/kg	未満
亜硝酸イオン	0.1	mg/kg	未満
ストロンチウムイオン	0.1	mg/kg	未満
総クロム	0.02	mg/kg	未満
亜鉛イオン	0.02	mg/kg	未満
銅イオン	0.02	mg/kg	未満
バリウムイオン	0.05	mg/kg	未満
硝酸イオン	0.08	mg/kg	未満
カドミウムイオン	0.001	mg/kg	未満
鉛イオン	0.005	mg/kg	未満
総ヒ素	0.005	mg/kg	未満
総水銀	0.0005	mg/kg	未満

⑥温泉の分析年月日 平成19年7月30日

⑦登録分析機関の名称及び登録番号

名称 社団法人徳島県薬剤師会検査センター
登録番号 徳島県第2号

2.禁忌症及び入浴上の注意

①浴用の禁忌症

急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

②浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

③入浴の方法及び注意

- (1) 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当り1回程度とすること。その後は1日当り2回ないし3回までとすること。
(2) 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
(3) 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
(4) 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
ア 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。
イ 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
ウ 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)
エ 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
オ 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
(イ) 高度の動脈硬化症 (ロ) 高血圧症 (ハ) 心臓病
カ 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
キ 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
ク 飲酒しての入浴は特に注意する。
ケ 飲用しないこと。

3. 成分に影響を与える項目

○ (加水している場合、その旨及び理由)

○ (加温している場合、その旨及び理由)

入浴に適した温度に保つため、加温しています。

○ (循環・循環ろ過して利用している場合、その旨及び理由)

温泉資源の保護のため、循環利用をしています。

○ (入浴剤等を添加している場合、物質の名称及び理由)

○ (消毒処理している場合、消毒方法及び理由)

衛生管理のため、塩素系薬剤を使用しています。

施設名 ゆうび泉

こんびら温泉いこいの湯 温泉管理者 琴平町